

令和元年度 第4回朝倉市地方創生会議 議事概要

1. 会議概要

日 時	令和元年12月24日（火）19：00～21：30	
場 所	朝倉市役所 別館第1・2会議室	
出席者	委 員	出席：8名 欠席：2名
	朝 倉 市	総務部長、 事務局（総合政策課）4名
次 第	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 議事 （1）人口ビジョン（案）について （2）第2期朝倉市総合戦略（素案）について 4. その他 5. 閉会	
配布資料	資料1 朝倉市人口ビジョン（案） 資料2 第2期朝倉市総合戦略（素案） 別紙1 朝倉市地方創生会議スケジュール（予定）修正版 参考資料1 総合戦略に掲げる取組とSDGsの関係 参考資料2 用語解説	

2. 議事要旨

（2. 会長あいさつ）

- ・頂いた資料も初めて見るものもある。分かりにくい所はどんどん質問し、少しでも良いもの、中身を詰めていきたいと思っている。ご協力お願いします。

（3. 議事）

（1）人口ビジョン（案）について 資料1

委員名	意見、考え等
A	近隣自治体への転出の原因を分析し対策を講じるとあるが、分析の結果、例えば、就業の場ができれば転出が減るなど、何か具体策を考えているのか。
事務局1	近隣市町村への転出が転入を超過している。この2つの自治体と比較した場合、例えば、子育て施策を見ると、決して負けていない。むしろ朝倉市のほうが充実している。地理的に福岡都市圏に近い事や住宅・アパートの家賃が安い事が原因の一つと考えられる。今後きちんと分析したうえで、必要な対策を打っていく。
A	子育て環境としては近隣より朝倉市の方が勝っているにもかかわらず、転出が多いということですね。福岡都市圏の便利さを考えるとそちらへの転出は仕方ない面もあるかもしれないが、似た環境である近隣への転出はもう少し止めようがあると思う。しっかり分析し方策を立てていただければと思う。
事務局1	必要な施策の情報が必要としている人に届くPRを具体的に第2期総合戦略の中で今後5年間のうちに整理したい。
A	東京近郊では待機児童問題があり、若い世代が子育てしやすい場所へ移住する現象が起こっている。千葉県木更津市では小学校が足りなくなっているほど、魅力があるようだ。朝倉市もニーズにあった施策をしていただきたい。
B	資料1 上の分の下から5行目、「朝倉市が他市町村への通勤・通学圏として機能している」とはどういう意味合いか。

委員名	意見、考え等
事務局 1	人口ビジョン 14 頁を見ていただきたい。朝倉市から他所へ通勤・通学している人が人口 28,000 人に対し 9,000 人。つまり 3 割は当地から他所に通勤・通学ができると読み取れる。
B	それであれば「通学圏となっている」が良い。「機能している」という言葉に違和感がある。「どういう機能があるのかな？」という質問です。
A	住宅を構える「機能」があるということか。
事務局 1	私共は朝倉市に住み、朝倉市で働いていただくことを重点に置いていたのだが、朝倉市に住んでいる方が、よその自治体で働くことについてもこれから先は大事にしたい。通勤・通学の足として結構な人数が甘木鉄道、西鉄バス 400 番を利用して都市圏へ通っている。福岡、他都市圏へ通勤する機能があるという意味で使っている。
B	交通インフラが整っているという意味で理解してよろしいか。
事務局 1	はい。インターチェンジも 3 つあることから敢えて「機能」という言葉を入れた。
C	朝倉市から進学で東京圏に出ていった若者にとって、朝倉市の求人情報が分からない。インターネットで検索すると一般的な求人は少しあるが、専門性の高い求人情報が見えない。学んだスキルやキャリアを活かせる就業の場が開示されていない。進学先が遠方であれば、就職活動の為に説明会や面接で行き来するにも費用がかかる。これが負担と思えば近場で就職先を探してしまう。結果、若者が戻ってこない。こういう現実もある。専門性の高い求人情報をどこからでも見れるようにしていただきたい。
事務局 1	就職情報をどのように都会に発信していくのか。戻ってきてほしければ、当然情報発信がないといけない。また、発信だけでなく、就業の機会を如何につくるか。例えば、東京で面接を行うなど。このようなご提案だと理解した上で、回答は預からせていただきたい。朝倉市がどのようにアプローチかけられるのか、もしくは福岡県、広域レベルで取り組んでいかないとなかなか難しいと思う。
A	一時、国が地方創生にもものすごく力を入れていた時に東京で地方に戻ろうというフェアをやっていた。各自治体がブースを設けてわが町のアピールをフェスのようにやっていた。今、仰ったように朝倉市に住みつつ福岡に通うことを想定すれば、福岡市でスキルを活かせる仕事に就き、朝倉市から通勤することも可能だと思う。伝え方が大事だと思う

(2) 第 2 期朝倉市総合戦略(素案)について資料 2

第 2 章

委員名	意見、考え等
D	基本目標 4 の住みよさランキングについて同じ指標だと思うが、H28 の 9 位は何が良くて H31 の急激な落ち込みはどうしてなのか。
事務局 1	第 1 回の資料になりますが、住みよさランキングは 2019 年に指標が変更された。順位が大きく変動したのは安心度、そのうち 15~49 歳女性人口あたり出生数が 20~39 歳女性 0~4 歳児に変わっている。年少人口増減率が子ども医療費助成に変更などになっている。指標が大きく見直され、それが朝倉市にとってはマイナスとなった。ちなみに 2016 年 9 位、2017 年 12 位、2018 年 24 位、2019 年 86 位である。
D	朝倉市が住みやすいと思う市民の割合が半分満たない。住みやすいと思う理由は何か。
事務局 1	昨年作成した総合計画でアンケートを取っており、複数回答が可能だったため、買い物がしやすい、買い物がしにくいと答えた方が両方 50%超え拮抗する変な数字が出た。住みやすいと答えた方が 47.8%だったが、住み続けたい、どちらかといえば住み続けたいと答えた方が 83%いる。田舎なので若干不便さはあり住みづらさを感じる方もいる。相反する結果が出ているところがある。

委員名	意見、考え等
E	農業支援事業メニューの掲示が悪い。農家に分かりづらい。「他所の市町村では具体的に一覧表を作っている」と言ったら市の職員が「そんなことをしたら大変ですよ」「仕事ができなくなる」と言った。間違っていると思う。こんな相談があれば、それに対応したメニューのみを教えてくれる。対応が受け身だと思う。他県A市は一覧表がある。PR不足である。 成果指標の1つである集落支援員や協力隊員1,2名増えたから安心して暮らせるまちになっているという評価は間違っているのではないか。
事務局1	今日欠席している委員からも「子育てに関する相談時に職員の対応が非常に拙かった」と指摘を受けている。戦略、計画を作って実施しても伝えようとする熱意が無い限り、住民の皆さんに満足していただけない。いずれ見捨てられていくのは当然だと思う。いろんな部署に拙い対応の職員があること、嫌な思い、残念な思いをした市民がいることを伝えて参りたい。そういう職員ばかりではないが、災害をきっかけに頑張らないと朝倉市は埋没していく意識が職員の中にもある。PRについても色々な手法、アプローチの仕方も直球だけでなく、見せ方を含め力を入れていきたい。貴重な意見として、お預かりしたい。
E	ふるさと納税が増えたのは災害による寄付の意味合いが大きいのではないか。集落支援員についても併せて聞きたい。
事務局2	集落支援員は以前から松末、高木地区にいて、引き続き入れている。他の自治体に比べ遅いとお叱りを受けているが、今年から朝倉市も地域おこし協力隊を始めた。 ふるさと納税についてH29全体で5億9千万ほど頂いた。返礼の要らないもので、復旧・復興に活かししてほしいとご協力いただいた。H30は3億5200万円と通常額になった。今年は制度が変わる中で、既に11月段階で10億を突破している。見せ方について、インターネットで「ふるさと納税 福岡県」と検索するとまず最初に朝倉市が出てくるような仕掛けをしている。また、DVDを作り感謝というかたちで被災を受けた農家の姿を流している。これからも継続していきたい。補助事業、交付金の事業メニューの一覧についてはしかと承ったので、持ち帰る。ご理解いただきたい。
A	3頁の「新築住宅件数は、あさ暮らし住宅補助事業などにより増加しています」とあるにもかかわらず、流入人口がそんなに増えていないのはあさ暮らし住宅補助事業が復興のリフォームのために使われていることが多いのか。
事務局1	転出超過の状況だが、転入も一定数はある。その中にはこのあさ暮らし住宅補助事業を使っている方もいる。転入を大幅に上回る転出数があるという実態だ。

第3章

第4章 基本目標1

委員名	意見、考え等
F	第3章○Society5.0について、未来技術を活用した農業（スマート農業）による省力化や生産性の向上と謳っているが、生産性の向上はすなわち人は要らなくなることにつながるのではないか。新しい技術を使う人も出てくるが、いくら新規就農者が増えても人が不要になっては相反する部分があるようにとらえている。市としてはどうお考えか。
事務局1	農業に係るすべての作業が5~10年の内に自動化すると思っていない。ただし、労力の荷重がかかる分については技術的に補佐が出来れば楽になると考えられる。
A	9頁(2)について農林水産業生産額が落ちているのはなぜか。新規就農者は増やして額が落ちることをどう解釈したらよいか。
事務局1	数値については調整中である。
G	6頁○関係人口の創出・拡大について、農泊や農山村体験など朝倉市の暮らしを体験するとあるがこれはグリーンツーリズム、民泊のことだと思う。年々増えていると思うが受け入れ態勢、農家は充実しているのか。宿泊場所が足りない場合は断っているのか。
事務局1	グリーンツーリズムに関して現状は1,141名である。この水準を保ちたいと考えている。災害の影響で一時期お断りもしていた。また、グリーンツーリズムに対して宿泊税をかける県の方針が出たので今後の影響は分からない。
A	今までかからなかった税金がかかるということか。

委員名	意見、考え等
事務局 1	福岡県が令和 2 年 4 月から 200 円の宿泊税を徴収する方針が決まっている。最初に旅館業組合だけというアナウンスがあったが、農泊も対象になると県税部署から認識が変わったという連絡が先月あった。農泊を受け入れている方にもしかしたら影響するのではないかと考えている。グリーンツーリズムを取りまとめている協議会が手続きを代行するという話も流れてきている。
B	8 頁 (1) ④経営安定の支援 について具体的にはどんなことを想定しているのか。産学連携、新商品開発、販路の開拓、未来技術の導入などの記載がある、特に事業承継問題について非常に高い専門性が必要となる。どのような支援なのか？
事務局 1	既に具体的なメニューがあるものもある。調べて答えさせていただきたい。

基本目標 2

委員名	意見、考え等
E	消費者との交流事業参加者数がグリーンツーリズム参加者数ということだが、もう少し定着する取組を指標にすべきではないか。弱いのではないか。いろんな団体の取組を行政が把握し支援すると継続性が出てくる。具体的な数字が出てくると思う。
事務局 1	より適切な指標となる項目を検討したい。
A	その下の関係人口と地域を結ぶコーディネート事業を行う団体数というのは具体的にどういうものか。コーディネートするコンサルティング業か、旅行代理店か、NPO 等民間団体か。
事務局 1	こちらは災害ボランティアと地域を結ぶ NPO 団体を考えている。8 団体というのは被災地域が 8 地域ある為、1 地域 1 団体中間支援組織が来てくれればという目標を掲げている。
A	復興でできた新しい関係をよりプラスにつなげていこうという取組と考えてよろしいか。
事務局 1	はい。

基本目標 3

委員名	意見、考え等
F	西鉄電車に乗ると吊り広告に近隣市が子育て世代の移住に 30 万円出すと書いていた。結婚・出産に対する対策も重要だと思うが、子育て世代が移住するもの人口増につながる。移住した時の補助はあるか。
事務局 1	まだ言えないが全く考えていないわけではない。
H	(4) 学校教育の充実 において芸術面が抜けている。芸術は人生を豊かにするものである。基本目標 2 (1) ②に“文化”とあり、それに含まれていると思うが「工芸・芸術・音楽」について全体を通して薄い。触れられていない。私はある委員になったが、任命しますという通知は来たが、1 年間何もなく、3 回ほど市役所に電話をしたが何もなかった。予算は充てられていると思うが、一体どうなっているのか。朝倉市でも芸術祭があるが、文化祭っぽい。ものさみしい。芸術の位置づけを上げれば、地域の楽しさ・多様性に目を向けるようになるのではないか。秋月博物館など地域遺産が活かされていないのも、芸術に目を向けられていないからなのではないか。
事務局 1	主な取組に直結するテーマだと思うので、意見として預かりたい。
A	14 頁 (2) 出産・子育てがしやすい環境づくりについて評価指標の【中学生向け「性とからだの健康づくり」教育への参加者数】は近隣市の子育て支援にも出てくる。中学生の妊娠が問題になり性教育をきちんとしなければならぬ。そこで 15 頁⑦ライフデザインを考える機会の提供に充てられていると思うが、文章が分かりにくい。キャリアデザインとは進学・就職を指す言葉でカタカナを並べただけでは性教育という趣旨が分かりにくい。
事務局 1	きちんと伝わるよう文章を直したい。

基本目標 4

委員名	意見、考え等
D	市民の割合とあるが、どのように割合を算出しているのか。
事務局 1	市が 2 年に 1 回まちづくりアンケートを市民約 3,000 人対象に実施している。指標の数字はそこから取得している。
C	(2) ②地域コミュニティの活性化について地域活動の担い手の発掘・育成とともに、緊急時・災害時だけでなく日常を支える持続可能な共助・公益活動を支援します。とあるが、消防団が頭に浮かんだ。朝倉市になったが、消防団の活動は統一化されていない。一昔前は消防団に入るのが嫌で引っ越しをする人もいた。活動をしやすいようにするためにルールを一本化してほしい。いろんな人が参加しやすいようになってほしい。それが朝倉市からの転出防止にもつながるのではないかと。
事務局 1	消防団の活動について地域性の違い等の詳細を把握していない。防災交通課として消防団の担い手の確保については、頭を悩ませている。また、ルールの統一についても認識はあるはずである。貴重なご意見について防災交通課につなぐ。
E	(2) ②について防災士養成を行政が補助金を出していることについても説明してほしいのではないかと。 (4) ①地域強靱化計画を策定し・・・これはどういうことを意味するのか。 (5) 時代にあった、持続可能なまちづくりの中で中山間地域でのサービス拠点箇所、数値目標は異なるかもしれないが・・・あわせて、災害に強いまちづくりに関して、復旧・復興計画は策定され、復旧期・再生期・発展期の 3 か年で別に計画がある。災害から 3 年がたち、復旧期は終わろうとしているが、インフラ整備も含め、住居の確保ができていないという現実の中で、戦略のこの部分で復興計画との関連性、具体的な指標、復興の進捗状況を数字で出し、関連させることはできないのか。復興計画との考え方を尋ねたい。
事務局 2	地域強靱化計画については、災害時においては地域防災計画として動き、平時にこの計画を立てておきなさいと国から指示もあり、令和 2 年から朝倉市も計画策定する。 防災士については令和元年から各コミュニティにお願いしながら、研修にかかる費用の約半額相当を助成している。17 コミュニティで各 1,2 名はお願いしたい。
事務局 1	中山間地域でのサービス拠点箇所、基準値 1 箇所が目標 3 箇所となっている。小さな拠点制度というのは、中山間地域における生活サービスを支援する拠点である。今あるのは秋月地区である。復旧・復興を図る、復興計画などのキーワードを入れることはできると考えるが、進捗の数値をどのようにとるかというのは技術的に難しいと感じる。復興計画の戦略の中に記載し進捗管理できないかという点については即答できない。一度預かり次回、回答したい。
E	評価指標は検討中ということであるが、ここに限らず捉え方が細かすぎたり、非常に抽象的な部分があり全体的におかしいと感じる。中学生向け「性とからだの健康づくり」教育への参加者数は、生徒数を書いているだけではないかと思う。関係人口と地域を結ぶコーディネート事業を行う団体数は、災害地域の 8 地域と聞いたけれども災害地域に限らず、もう少し違う意味で関係人口のコーディネート事業を継続的にやっていくべきだ。指標にあげる項目を考えないといけない。
事務局 1	なるべく紛れないよう指標を設定している。あてはまる指標がないものもある。今後、指標を見直し、育てていく必要がある。今の段階で、採用している指標がこんなものなのかと思われるものもあるが、取組が伝わりやすい指標を採用していくつもりであり、できるものは見直す。
A	20 頁の (6) 生涯学習・スポーツの推進 ②スポーツ・レクリエーション活動の推進において、朝倉の宝は自然資源が豊かなところなので基本目標 1 (3) にも記してあるが地元の人山登り、サイクリング等楽しんでよいと思う。「文章の～、施設維持管理」の前に“自然資源を活用し”と入れた方がよいと思う。 それから、17 頁の平成 29 年 7 月九州北部豪雨とあるが、その上の指標が全て西暦表示の為、平成 29 年 (2017 年) と入れた方が後に見返す際に基準値・目標値との整合性が図りやすいと思う。 また、18 頁 (2) ③協働の推進とあるが、その上の表の「市民と行政が協力してまちづくりをしていると思う市民の割合」を協力よりも“協働”がふさわしい。

委員名	意見、考え等
事務局 1	西暦の表記については、平成 29 年 7 月九州北部豪雨は正式名称である為、このままにしたい。18 頁 (2) についてはアンケートがこの表記である為、預からせていただきたい。 第 4 章まで説明したが、事務局からの提案として、中身を変えずに分かりやすく伝わるような文章を直したい。ご了承いただきたい。

(4. その他)

委員名	意見、考え等
事務局 1	次回は第 5 回 (1/30) に開催予定である。
A	パブリックコメントは 2 月中旬から 3 月上旬まで行って、3 月中旬にすぐに結果が出るのか。
事務局 1	パブリックコメントは 3 週間、2 月中旬から 3 月の初週まで予定している。そこで出された意見について事務局で取捨選択をし、採用、修正し、皆様にお諮りいただく。第 6 回の開催は恐らく 3 月下旬近くになる。そこで (案) を決定していただき、庁内の本部会議にかけ、最終的に組織決定をする段取りになる。

(5. 閉会)

以上